

中国・南昌市への青年訪問団派遣事業 事後報告書

◆学校名と名前：専門学校穴吹ビジネスカレッジ 乃口 恵

江西省及び南昌市に滞在中の様子（写真を含む）や本事業で得たこと、感想等をご記入ください。（1,000字程度）

私が今回、中国・南昌市への青年訪問団派遣事業に参加してよかった点と想ったことは大きく分けて「文化」、「食事面」、「衛生面」の3つです。

まず1つ目は、「文化」についてです。その中でも私は2つの「文化」についてお話しします。まず初めに「食文化」についてです。私は中国を訪れる前に「南昌の料理は純粋に辛い」と聞いていたので内心ずっとビクビクしていました。ですが、実際に行ってみると辛い料理だけでなくパスタスイーツも充実していて非常に用意していたインスタントお粥やコンスープを使わずに済ませました。そして、「伝統文化」についてです。まず「陶磁器」についてです。中国・景德鎮では1000年も続いている「伝統文化」であり、中国産劇「china」の題材にもなっています。

2つ目は、中国での「食事面」についてです。私は中国を訪れる前は辛い料理ばかりだと思っていましたが、中国に着いた最初の食事が「すき屋」の牛丼大盛りセットで少しホッとしました。それ以降の食事もお粥のようなものがあってホッとしましたが、やはり日本食の方がおいしかったです。特に北京ダックがおいしかったです。唐がモチモチしていておいしかったです。

3つ目は、中国での「衛生面」についてです。その中でも3つの「衛生面」についてお話しします。まずは1番心配だった「水」についてです。日本と中国では水道水の水質がまったく異なっているのでお腹を下してしまわないかと不安でした。次はホテルのシャワー室に備えられている「アメニティ」がきちんとあるかについてです。両親や親せきの人から聞いた話では「（アメニティ）あるとこの方が少ない」とか「トイレットペーパーが あるところも少ない」とかよく言われていたので不安でした。そして、「バス」についてです。どのバスも居心地よくて毎回誰かと7-11などをして遊んでいました。あと、バスのドライバーさんが優しくったり一緒に乗っている人がハイタッチをくれたりして嬉しかったです。

このような魅力に触れることができて勇気をだして参加してみて良かったです。

最後にこの企画を主催してくださった関係者の皆様、本当にありがとうございます。谢谢！